



サステナブル・チョコレート ～児童労働のないカカオ調達への挑戦～



# パネリストのご紹介



独立行政法人国際協力機構  
(JICA)  
ガバナンス・平和構築部企画役  
寺門雅代

SDGs達成に向けた国際規範作り、途上国支援を担う。現部署では、基本的人権の尊重等の普遍的価値の実現のため、法整備、メディア、警察支援の他、持続可能なカカオ産業の実現を目標に多様な関係者が共創・協働する「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」を運営。プライベートでも教育問題等の社会課題の解決に向けた共創を牽引。



認定NPO法人ACE  
副代表/共同創業者  
白木朋子

1997年のACE創業より活動開始。カカオ生産における児童労働の解決をめざす「しあわせへのチョコレートプロジェクト」を2009年より牽引。ガーナでのコミュニティ支援事業の立案運営の経験をベースに、ガーナ政府による児童労働フリーゾーン認定制度の構築や企業のサプライチェーン改善の支援を行う。国内外に幅広いネットワークを持つ。



有楽製菓株式会社  
代表取締役社長  
河合辰信

ブラックサンダーでお馴染みの有楽製菓三代目社長。ブラックサンダーのマーケティング全般を取り仕切り、ブランドや会社の成長を牽引。2025年までに有楽製菓で使用する全てのカカオ原料をサステイナブル化するという目標を掲げ、2022年9月にはブラックサンダーのサステイナブル化を達成。



デロイト トーマツ コンサルティング  
合同会社  
アソシエイトスペシャリストリード  
小野美和

テクノロジー×社会課題解決をテーマに活動。社会課題解決に向けた企業の戦略立案や新規事業立ち上げ支援、人権に関するプロジェクトを実施。ACEとガーナにおける児童労働フリーゾーンガイドライン策定を支援、西アフリカにおけるサステナブルカカオ豆のトレーサビリティシステム構築に従事。



# 「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」のご紹介



## プラットフォーム

会員：業界団体、企業、コンサルタント、NGO、法律家 他（団体52と個人102）\*1

- (1) 会員間の情報・経験の共有
- (2) 会員間の協働の促進
- (3) 国内外に対する発信 等

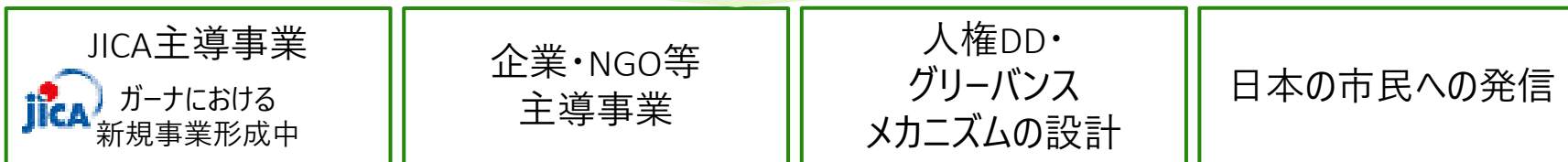


連携  
学び合い

## 国際的なパートナーシップ

ILO, UNICEF, 世界カカオ財団, 国際カカオイニシアティブ, 米国労働省、欧州のカカオ・プラットフォーム (ISCO) 他

参加 / 共創・協働  
資源動員 知見の共有



経済社会開発

責任ある企業行動  
消費行動（エシカル消費等）

事業

開発途上国における社会的、経済的、環境的に持続可能なカカオ産業  
（＝サステイナブル・カカオ）の実現への貢献

\*1：2023年2月時点

# 「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」会員



※2023年2月時点



# アフリカの子ども5人に1人が児童労働に従事しており、カカオ産業において深刻な状況

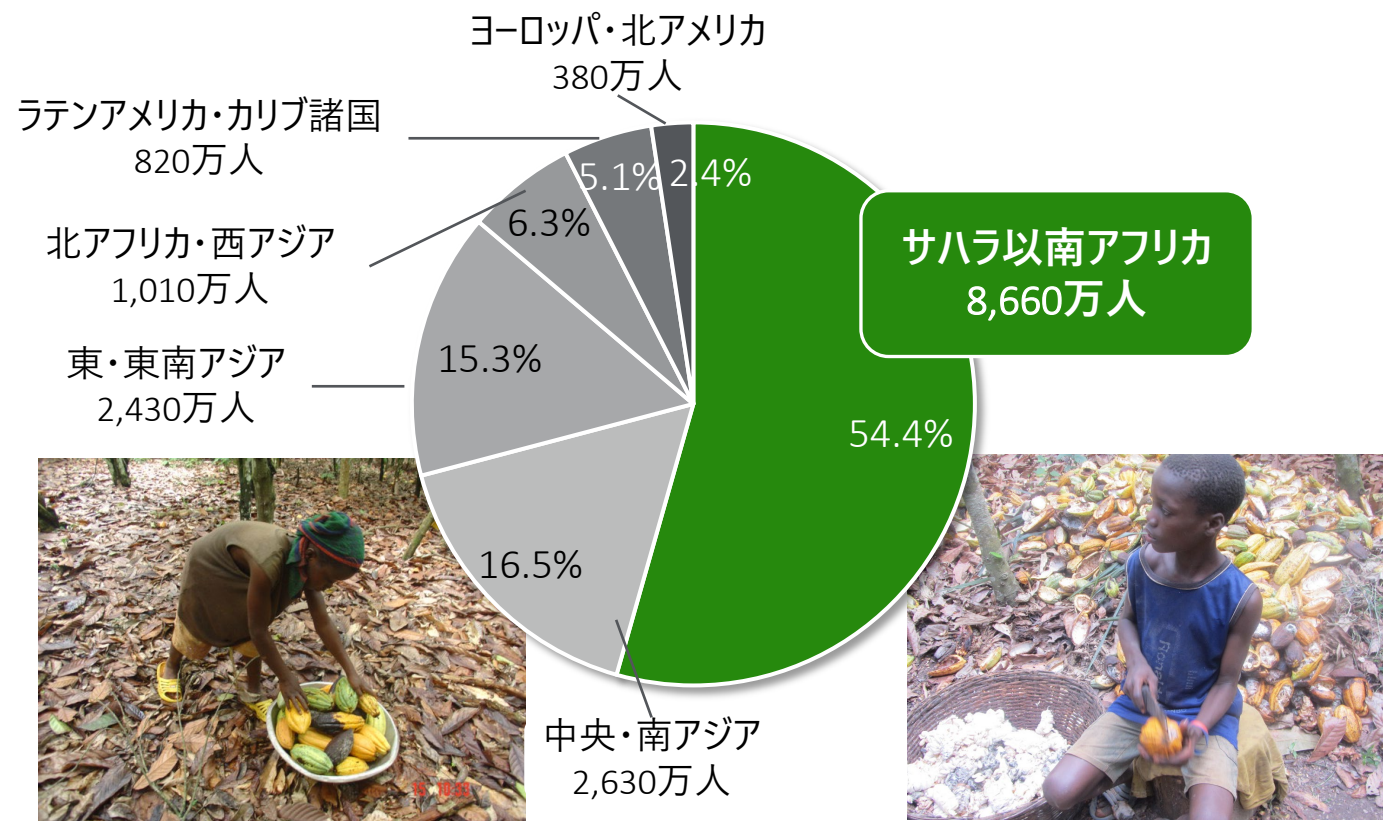


- コートジボワールとガーナのカカオ生産で156万人の児童労働者
- 95%が危険有害労働に従事
- ガーナは77万人、カカオ生産地の農家の55%



出所：NORC報告書、2020年10月

【児童労働の地域分布】



出所：ILO/UNICEF、2021年

# 有楽製菓の「ブラックサンダー」が、児童労働に配慮したカカオ原料へ全面切り替え

ニュース (2022/9/29)



YAHOO! ニュース  
JAPAN

## 「ブラックサンダー」を児童労働に配慮したカカオ原料に切り替え 専門家「非常にスピード感と企業努力が見られる」 2025年までに 有楽製菓の全商品で

2022/9/29(木) 16:30 配信 53



ABEMA TIMES



有楽製菓「ブラックサンダー」

小腹が空いた時、お手軽価格で満足させてくれるチョコレート菓子。製造元の有楽製菓が取り組んでいるのが、「児童労働」の撤廃だ。

【映像】児童労働どう撤廃？ チョコの“不都合な真実”は

「2022年内にブラックサンダーに使用するカカオ原料を、児童労働撤廃につながる『スマイルカカオ』に切り替えます」（同社HP）

誰でも手の届くお菓子で実現できていることが、大きなインパクトになる。  
消費者が児童労働問題に興味を持つきっかけになるだろう。

他の企業も追随していけば、大人がカカオ労働で適正な給料をもらえるようになり子どもが働く必要がなくなる。有楽製菓は、それに向けた新たな一歩を踏み出したということだ。



# カカオ農家の生活に必要な所得と、実際の所得との差には大きなギャップがある

## ガーナのカカオ農家の生活所得(Living Income)

### ■ 生活に必要な所得水準(最低ライン)

1人あたり **\$2.08/日**

1人あたり\$312/月、  
両親+子ども3人の5人家族の場合

### ■ 実際の所得水準

1人あたり **\$1.42/日**

### ■ 実際の所得と生活に必要な所得のギャップ

1人あたり **\$0.66/日**

1家族(5人) **\$3.30/日**

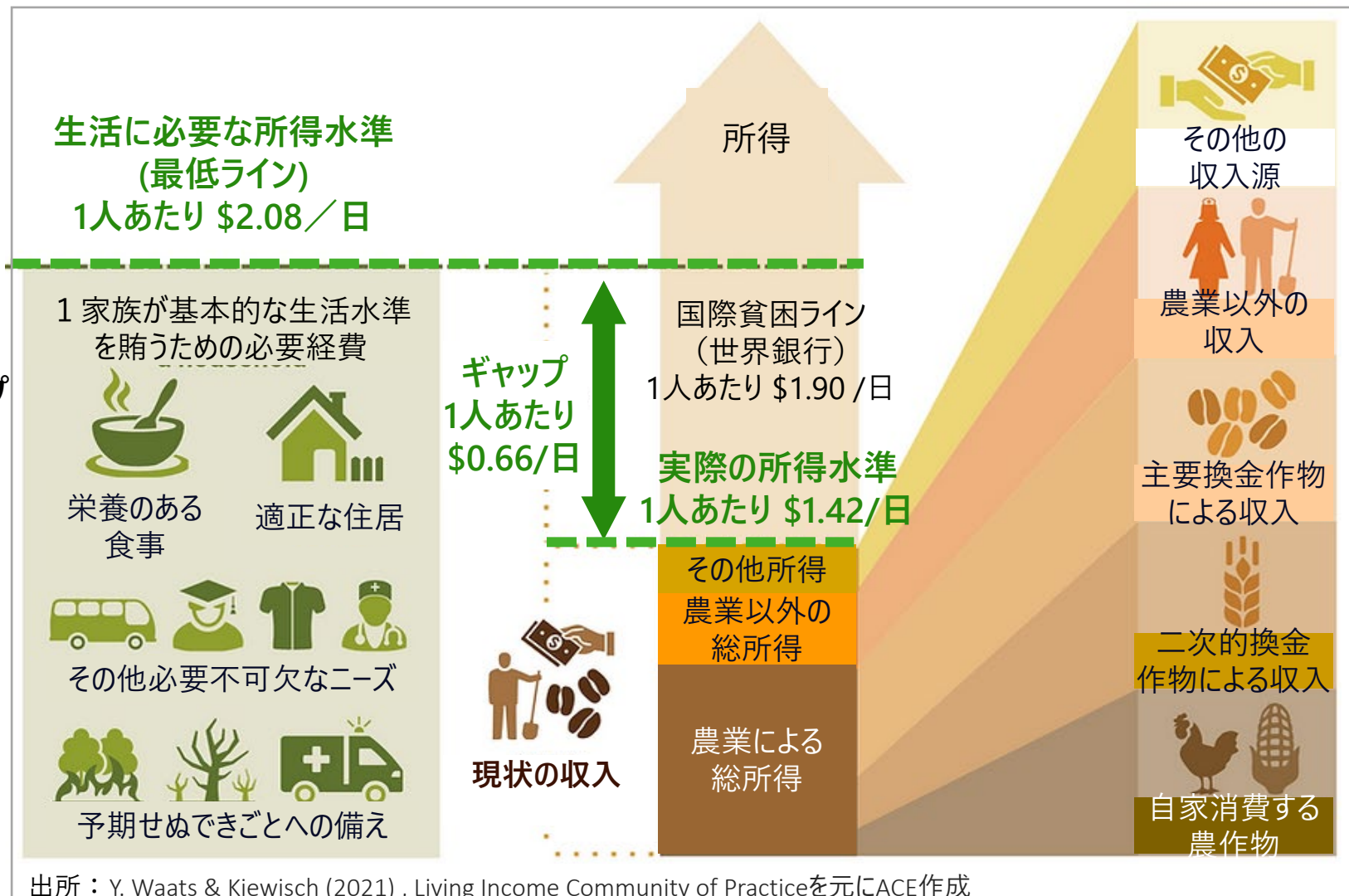


### 1家族(5人) の場合のギャップ

1か月約 \$100

1年 約\$1,200(約16万円)

※データは2020年3月時点



# サプライチェーンを通して発生する社会・環境コストは、板チョコレート 1 枚(50g)\*あたり約33円

\* カカオ含有率50%の場合、ミルク・砂糖のコストは対象外

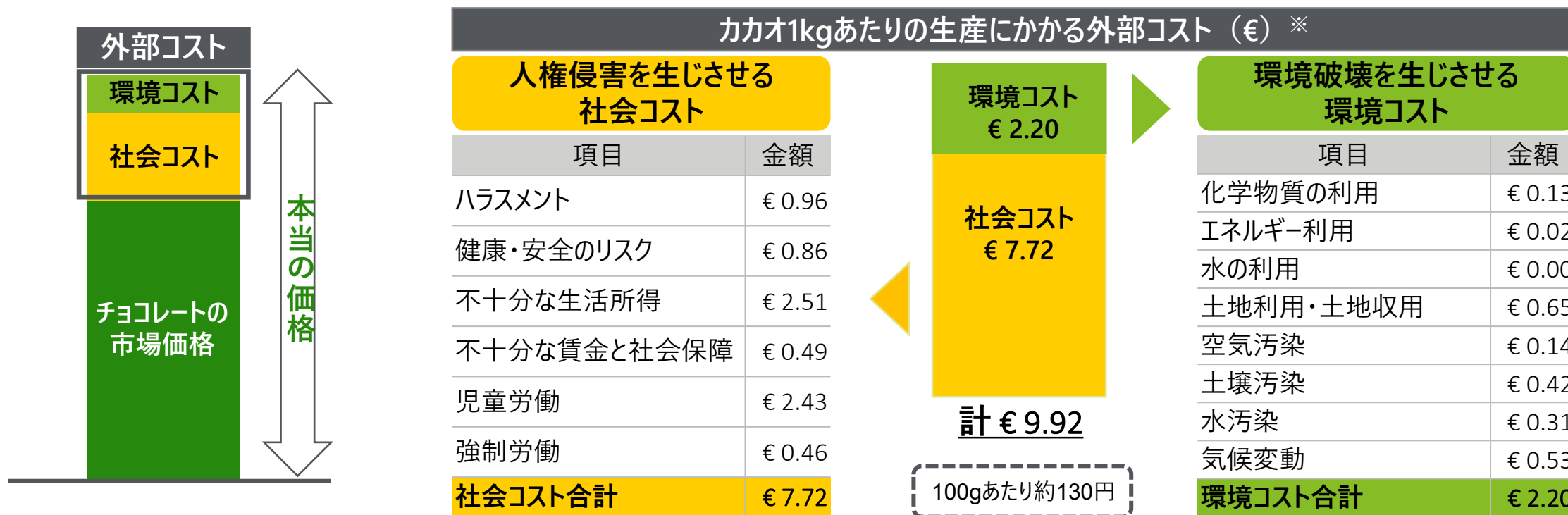
**Deloitte.**  
デロイトトーマツ

## チョコレートの本当の価格

チョコレートの  
本当の価格  
(True Price)

サプライチェーンを通して発生している社会・環境コスト(外部コスト※)を金額化し、製品の本当の価格を算出

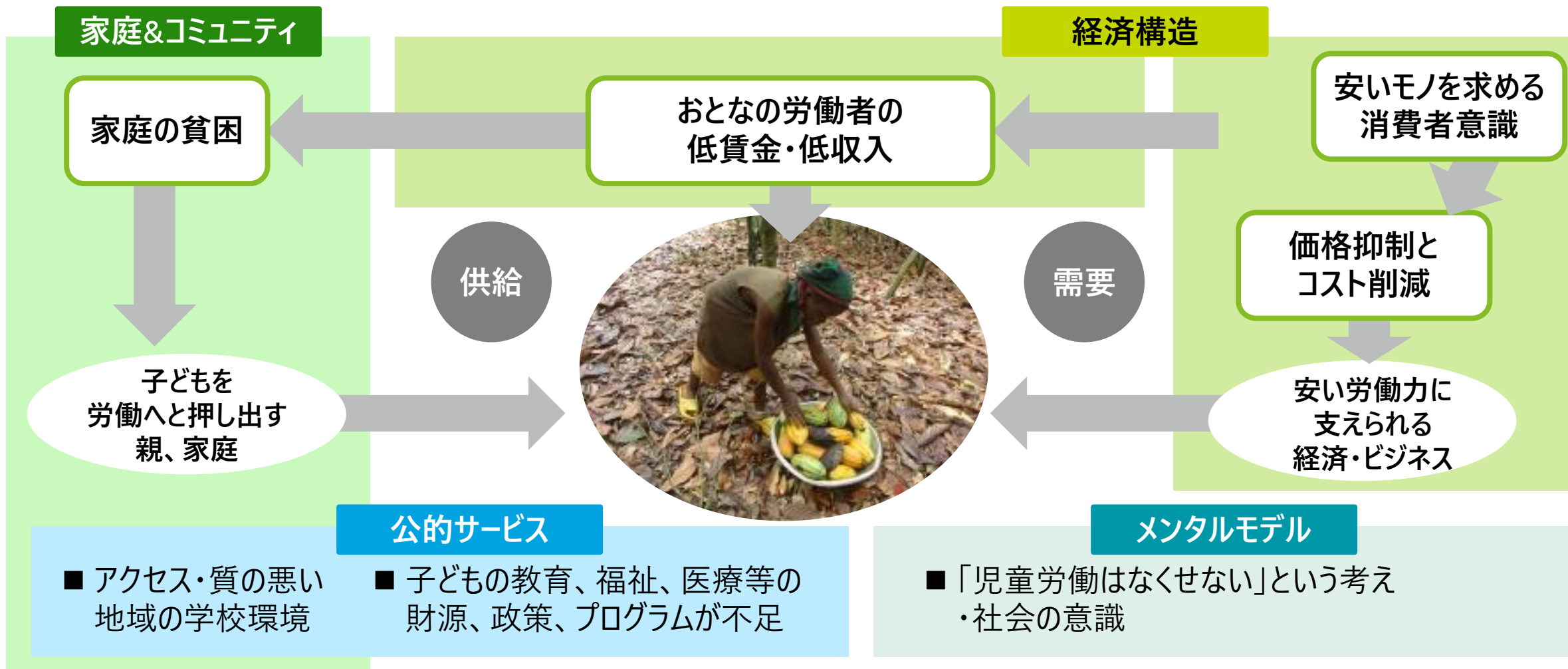
※外部コスト：社会的、環境的に発生している影響を補償、補修、予防するために必要なコスト  
機会損失分のコスト算出、将来の負の影響を防止するためのコスト算出、の2つのアプローチで算出



※ 2017年True Priceによるチョコレート会社・商社・農家へのインタビュー、文献調査に基づき算出（円換算は2017年のレート使用）












# 児童労働問題を一つのシステムとして捉える



# 児童労働撤廃に向けたセクター別アクション



-  **調達比率**      サステイナブル・プログラム\*1原料、あるいは認証原料を優先的に調達し、割合を増やす
-  **産地特定とリスク調査**      自社製品、サービスに関連する原料のトレーサビリティ、調達元地域を特定し、児童労働のリスクを調査、把握する
-  **是正措置**      自社のサプライチェーン、原料調達地域において特定された児童労働事案に対して、適切な是正措置を取る
-  **情報共有**      児童労働に関するリスク、モニタリング、是正に関する情報を共有するためのシステムを構築し、カカオ生産国の政府・自治体、企業・業界、NGO等の情報を統合する
-  **マルチステークホルダー連携**      カカオ生産国及び消費国で児童労働を予防、監視、是正する、マルチステークホルダーの連携を推進する
-  **生産地支援**      カカオ生産国、自治体における、児童労働の防止、撤廃および、児童労働の根本原因への対応または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応、制度環境、公共サービスの整備・改善の支援
-  **消費者エンゲージメント促進**      消費者に対する児童労働の現状や取り組みの必要性・インパクトの発信により児童労働に取り組む商品の購買を促進
-  **認証への統合**      児童労働の撤廃に向けた、認証制度の強化
-  **情報公開**      取り組みに関する定期的な報告と情報公開

